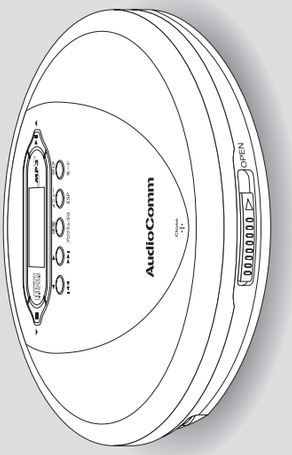
AudioComm®

ポータブルCDプレーヤー

取扱説明書

保証書付

型番：CDP-3878Z　品番：07-3878



このたびは、AudioComm® ポータブルCDプレーヤーを
お買い上げいただき
誠にありがとうございます。

本機の機能を充分に発揮させ、安全にお使いいただくためにも、
ご使用前にこの取扱説明書を最後までお読みください。
なお、お読みになられた後は、
ご使用時にいつでも見られますように大切に保管してください。

保証書

持込修理　無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合のみ無料修理いたします。
2. 保証期間内でも次の場合には有料修理となります。
   （イ）使用上の誤り、または、自己修理、分解、調整、改造などによる故障及び損傷
   （ロ）お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷
   （ハ）火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛りなどによる故障及び損傷
   （ニ）消耗または摩耗した部品、付属品の交換
   （ホ）本書のご提示がない場合
   （ヘ）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは文字を書きかえられた場合
   （但し、販売シールや領収証でも未記入項目の代用となります。）
   （ト）本品本来の用途以外に使用された場合の故障及び損傷
   （チ）一般家庭用以外（例：業務用、または業務用に準ずる使用方法）で使用された場合の故障及び損傷
3. ご贈答、ご転居などで本保証書に記入のお買い上げ販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
5. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

商品名	ポータブルCDプレーヤー			★お買い上げ日：　　年　　月　　日
型　番	CDP-3878Z	品　番	07-3878	保証期間：本体1年間（お買い上げの日から）
お客様	★お名前　　様			
	★ご住所　〒　　ー 電話　　（　　）			
修理メモ				
販売店	★住所　店名　電話 ㊞			

（注）★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
※この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
※保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
※お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。

OHM　株式会社 オーム電機
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
http://www.ohm-electric.co.jp

製品に関するお問い合わせは　**お客様相談室** へ
●通話料無料　0120-963-006
●携帯・IP・公衆電話からは　048-992-2735
電話受付　平日 9：00～17：30　土曜 9：00～17：00
日曜・祝日及び年末年始は除きます

修理に関するご相談は　**修理ご相談センター**へ
電話受付　048-992-3970　平日 9：00～17：00
土・日・祝日及び年末年始は除きます

07-3878A

目　次

免責事項……1
安全上のご注意……1〜3
CDについて……4
各部の名称……5
乾電池の入れかた・
　専用ACアダプターの使いかた……6
電源のオン・オフについて……6
接続のしかた……7
ホールド機能について……7
ESP機能について……7
CDを聴くときは……8〜12
外部機器に接続するときは……13
故障かなと思ったら……13
お手入れのしかた……14
主な仕様……14
保証書とアフターサービスについて……15
保証書……裏表紙

免責事項

下記の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。

- ●弊社の責任によらない製品の損傷や、破損、または改造による故障や不具合
- ●本製品によって生じたデータの消失または破損
- ●本製品のために費やした時間及び経費
- ●本製品を運用した結果もたらされた損害
- ●本製品によりもたらされた、直接的、間接的な効果及び利益の損失
- ●本製品をご使用になって生じたあらゆる結果及び、直接的、間接的なシステム、機器及びその他の異常

安全上のご注意

電気製品は間違った使い方をすると火災や感電による人身事故につながる可能性があります。このような事故を防ぐために、この取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を必ずお守りください。注意事項は、取扱を誤った場合に予想される事故の大きさによって3段階で表示しています。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためにいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。

⚠ 危険	この表示を無視して、誤った取扱をすると、火災、感電、破裂などにより死亡したり、大けがなどを負う可能性が想定される内容です。
⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取扱をすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりする可能性が想定される内容です。

絵表示の使用例

	△記号は、注意（危険、警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。（左図の場合は「感電注意」が描かれています。）
	○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。（左図の場合は「分解禁止」が描かれています。）
	●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。（左図の場合は「電源プラグをコンセントから抜く」が描かれています。）

⚠ 警告

使用禁止	**万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常を感知したら、すぐに停止ボタンを2回押して電源を切る。AC電源を使用しているときはACアダプターをコンセントから抜く。乾電池で使用しているときは乾電池を取り外す** ●そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理を依頼してください。
使用禁止	**万一、内部に水や異物などが入った場合は、使用を中止する** ●そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。販売店にご連絡ください。
分解禁止	**分解、修理、改造しない** ●火災・感電の原因となります。
禁止	**台所や浴室やシャワー室など、湿度の高いところや水はねのある場所では使用しない** ●火災や感電の危険があります。
乾電池に注意	**乾電池を取り外した場合は、小さなお子様が乾電池を誤って飲み込むことがないようにする。万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談する** ●乾電池は幼児の手の届かないところに保管してください。
禁止	**車やオートバイ、自転車などの運転中は使用しない** ●交通事故の原因になります。また歩きながら使用するときも、他の交通の妨げにならないよう十分にご注意ください。
適合品を使う	**AC電源にて使用するときは必ず付属の専用ACアダプターを使う。また、付属のACアダプターは絶対に他の製品には使用しない** ●製品の破損、もしくは火傷・発煙・火災の原因となる場合があります。
禁止	**本機やACアダプターの上に重いものをのせたり、ACアダプターのコードの上に本機をのせない** ●本機が破損したり、コードに傷がついて火災・感電の原因となります。
禁止	**表示された電源電圧交流100ボルト以外の電圧で使用しない。また、自動車・船舶などの直流DC電源には接続しない** ●製品の破損、もしくは火傷・発煙・火災の原因となります。
禁止	**海外では使用しない** ●本機は日本国内でのみ使用可能です。
禁止	**本機やACアダプターを布団などで覆わない** ●熱がこもってケースが変形したり、火災の原因になることがあります。
禁止	**雷が鳴りだしたら、ACアダプターに触れない** ●感電の原因になります。
禁止	**ピックアップレンズを覗き込まない** ●レーザー光が目に当たると、視力障害を起こすことがあります。

⚠ 注意

禁止	**ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所、振動の多いところに置かない** ●落下による故障やけがの原因となることがあります。
禁止	**窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない** ●本体に悪い影響を与え故障の原因となることがあります。
禁止	**ほこりの多い場所に置かない** ●火災・感電の原因となることがあります。ほこりがつかないように、ディスク・乾電池の出入れ時以外は必ずCDドアを閉じてください。
極性に注意	**乾電池を挿入するときは極性表示（プラス⊕とマイナス⊖の向き）に注意し、表示通り正しく入れる** ●間違えると、乾電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

次ページに続く

⚠注意

禁止	**指定以外の乾電池は使用しない。古い乾電池と新しい乾電池、種類の異なる乾電池を一緒に使わない** ●乾電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。	禁止	**ピックアップレンズには指を触れない** ●再生不良や故障の原因となることがあります。
禁止	**落としたり、本機に強いショックを与えたり、圧力をかけたりしない** ●CDが傷ついたり、本機の故障や破損の原因になることがあります。	乾電池を取り外す	**長時間本機を使わないときは、安全のため必ず乾電池を取り外す。ACアダプター接続時はACアダプターも取り外す** ●火災・液もれの原因となることがあります。
禁止	**はじめから音量を上げすぎない** ●突然大きな音が出て、聴覚に悪い影響を及ぼすおそれがあります。	掃除をする	**ACアダプターとコンセントの接続部を定期的に掃除する** ●ACアダプターとコンセントの間にほこりがたまると自然発火(トラッキング現象)を起こすことが知られています。年に数回、定期的に接続部のほこりを取り除いてください。梅雨期前が効果的です。 ●使用環境にもよりますが、2年に1回程度、機器内部の掃除をお勧めします。最寄りの販売店にご相談ください。
禁止	**長時間、大音量で聴き続けない** ●周囲の迷惑になったり、聴覚に悪い影響を及ぼすおそれがあります。		
禁止	**電磁波を発生させる機器(携帯電話、テレビ、モニターなど)に近づけない** ●電磁波によりお互いの機器が干渉し、ノイズや混信の原因となります。		

乾電池を安全にお使いいただくために

液もれ、発熱、破裂などの事故を防ぐために、以下のことをお守りください。

⚠警告	・火中への投入、加熱、分解をしない ・取り外した乾電池を幼児に触らせない ・ショートさせない
⚠注意	・⊕⊖の表示通りに入れる ・指定以外の乾電池を入れない ・古い乾電池と新しい乾電池、マンガンとアルカリなど種類の異なる乾電池を一緒に入れない ・使い切った乾電池はすぐに取り出す ・しばらく使わないときは乾電池を取り外しておく

●万一液もれしたら、液をよく拭き取ってください。また、液が皮膚や衣類に付着した場合はすぐに大量の水で洗い流してください。
●万一、もれた液が目に入ったときは、失明の原因となるので、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、ただちに医師に相談してください。
●使用済みの乾電池を廃棄する場合、自治体の条例などで決まりがあるときにはそれに従って廃棄してください。

液晶表示ディスプレイについて

本機の液晶表示ディスプレイは青系色を基調としております。お使いの環境によって見づらく感じることがあるかもしれませんが、故障や不良ではありませんのでご了承ください。

CDについて

本機で再生できるCD

メディアの種類	ファイル形式	
CD、CD-R／RW	CD-DA	音楽などを収録した市販CD(本書ではAudio CDと呼びます)。
CD-R ／ RW	MP3	音声圧縮方式のひとつ(本書ではMP3-CDと呼び、他のCD-R ／ RWと区別することがあります)。

※フォルダー構造やファイル形式によって認識されなかったり、再生できない場合があります。
ご注意：WAV、AAC、AIFFなどのファイル形式は再生できません。また、MP3以外の音声圧縮ファイルの場合(WMAなど)、CD-R ／ RWをセットすると、ディスクが回転し続けるなどの現象が起こる可能性がありますので、使用しないでください(動作保証の対象外となります)。

CD規格の注意事項

●ディスクに COMPACT disc DIGITAL AUDIO CD SINGLE のマークが入ったものをご使用ください。

●現在発売されている「コピーコントロールCD」と呼ばれる著作権保護技術付音楽ディスクは、コンパクトディスク(CD)規格に準拠しない特殊ディスクであり、本製品における再生にあたっては、動作や音質の保証は致しかねます。音楽ディスクパッケージの表示をよくお読みください。
なお「コピーコントロールCD」の詳細に関しては、ディスクの発売元または販売元にお問い合わせくださいますようお願い申し上げます。

コピーコントロールCD
コピーコントロールCDのマーク

●本機はCD-R ／ CD-RWの再生に対応していますが、以下の点をご注意ください。
・CD-R ／ CD-RWディスク、レコーダー、書き込みソフトウェアの種類・状態によっては、再生できなかったり、ノイズや音飛びが生じる場合があります。
・ファイナライズ処理がなされていないディスクは再生できません。
・本機ではMP3形式の音楽ファイル(対応ビットレート：32～320kbps)を再生できます。それ以外の形式で圧縮された音楽ファイルの再生はしないでください(P.8もあわせてご確認ください)。
・DRM(著作権保護)付きファイルは再生できません。
・本機で認識できるIDタグは英数字及び一部の記号のみです。それ以外の文字を使っている場合、本機では表示できません。

DualDiscについてのご注意

DualDiscとはDVD規格に準拠した映像用と音楽用のディスクを組み合わせた両面ディスクです。このDualDiscはコンパクトディスク(CD)規格には準拠していないため、本製品での再生は保証いたしません。

結露について

寒いところから急に暖かいところに移動させると、レンズに水滴がついたり、くもったりする結露現象が起こります。この状態で使用すると、正しく動作しないことがあります。このようなときはディスクを取り出して数時間放置してください。結露が取り除かれて正常に動作するようになります。

ディスク使用上の注意点

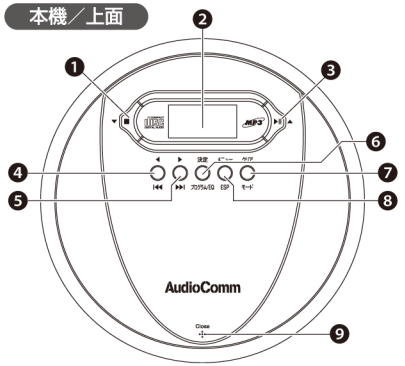
再生中、ディスクはプレーヤー内で高速回転しています。ひびやそりのあるディスク、割れたり変形したディスクなどは危険ですから絶対に使わないでください。

ディスク取扱上の注意点

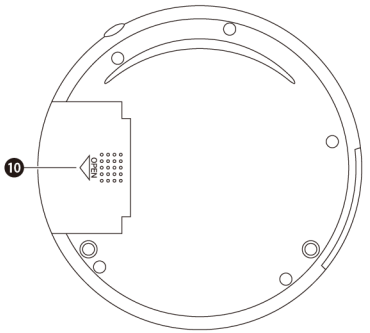
●再生面に触れないように持ってください。
●再生面はもちろん、レーベル面にも紙やテープなどを貼らないでください。
●ディスクに指紋や汚れがついたときは、柔らかい布などで放射状に軽く拭き取ってください。
●聴き終わったらディスクを本機から取り出し、ケースに入れて保管してください。
●ハート型や八角形などの特殊形状のディスクは、使用しないでください。機器の故障の原因となります。

各部の名称

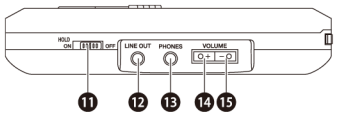
本機／上面



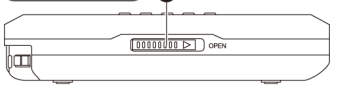
本機／底面



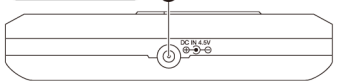
本機／左側面



本機／側面(前)



本機／側面(後)

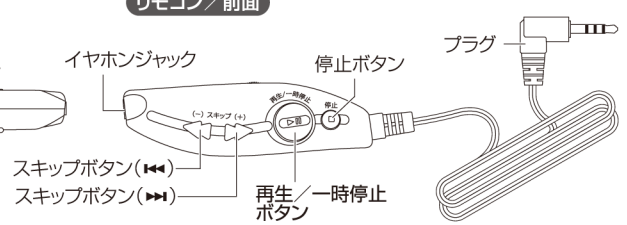


❶	停止ボタン	※カーソルボタン(▼)
❷	液晶表示ディスプレイ	
❸	再生／一時停止ボタン	※カーソルボタン(▲)
❹	スキップボタン(⏮)	※カーソルボタン(◀)
❺	スキップボタン(⏭)	※カーソルボタン(▶)
❻	プログラム／EQ(イコライザー)ボタン	※決定ボタン
❼	モードボタン	※クリアボタン
❽	ESPボタン	※メニューボタン
❾	CDドア閉部	
❿	電池ボックスカバー	
⓫	HOLD(ホールド)スイッチ	
⓬	LINE(音声)出力端子	
⓭	ヘッドホン／リモコンジャック	
⓮	VOLUME(音量)ボタン(+)	
⓯	VOLUME(音量)ボタン(−)	
⓰	CDドア開スイッチ	
⓱	ACアダプタージャック	

※のボタンは、機能を分かりやすく説明するため、名称を変えて説明しているページがあります。

リモコン／側面

リモコン／前面



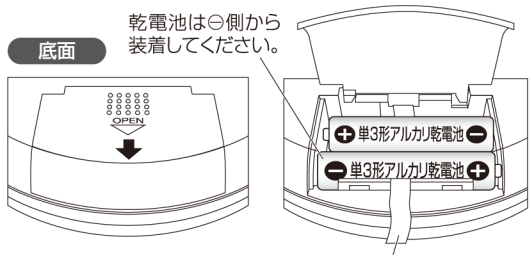
乾電池の入れかた・専用ACアダプターの使いかた

乾電池で使うときは…

❶ 電池ボックスカバーの部を押しながら矢印の方向にスライドさせて開けます。

❷ 単3形アルカリ乾電池(LR6)2本(別売)を本体記載図柄を参照し、⊕⊖の向きに注意しながら正しく入れます。

❸ 電池ボックスカバーを元通りにしっかりと閉めます。



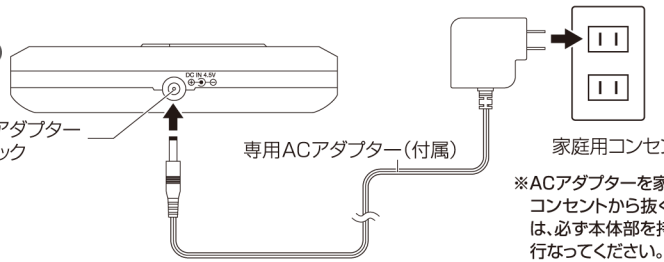
乾電池の残量が少なくなると、「Low Battery」の表示が、トラック番号と交互に点滅します。早めに新しい乾電池に交換してください。

リボンの上から乾電池を装着すると、取り外しやすくなります。**ただし、電池ボックスカバーを閉める際、リボンがはみ出さないようにご注意ください。**

専用ACアダプター(付属)を使うときは…

●専用ACアダプター(付属)を使うと長時間のリスニング時に便利です。
●専用ACアダプター(付属)を使うと自動的に電源がACアダプターに変更されます。

側面(後)



※ACアダプターを家庭用コンセントから抜くときは、必ず本体部を持って行なってください。

付属のACアダプターは本製品専用です。本製品をご使用の際には必ず付属のACアダプターをお使いください。また、付属のACアダプターは絶対に他の製品には使用しないでください。製品の破損、もしくは火傷・発煙・火災の原因となる場合があります。

電源のオン・オフについて

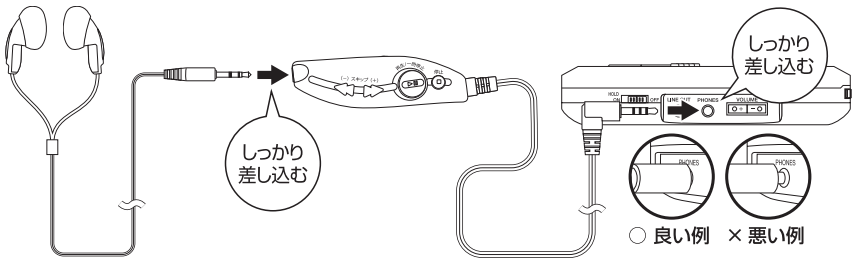
電源オン…再生／一時停止ボタンを押すと、電源が入ります(CDが正しく装着されているときは、読み込み動作の後、自動的に再生が始まります)。

電源オフ…停止ボタンを2回押すと、「Good bye」と表示された後、電源が切れます。ただし、電源を入れた直後〜読み込み動作中は同ボタンを1回押すだけで電源が切れます。

オートオフ機能…停止状態で約60秒間何も操作しない場合や、CDドアが開いたままの状態が約60秒続くと、節電のため自動的に電源が切れます。

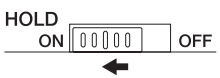
接続のしかた

イヤホンのプラグをリモコンのイヤホンジャックに差し込み、続いてリモコンのプラグを本機のヘッドホン／リモコンジャックに差し込みます。



- ●イヤホンジャック及びヘッドホン／リモコンジャックは、使用中に外れにくいよう固くなっています。接続時にはしっかりと差し込んでください。
- ●プラグを抜き差しするときは、コードではなく、必ずプラグ本体を持って行なってください。断線や破損のおそれがあります。
- ●接続は電源が切れた状態で行なってください。電源が入ったまま行なうと誤作動の原因になります。もし誤作動が起きたときは、電源を切り、再度電源を入れてください。
- ●接続時はリモコンの音量ツマミを最小にしてください。

ホールド機能について



持ち運び中などに誤って操作ボタンが押されて動作するのを防ぎます。有効にするにはHOLD（ホールド）スイッチを「ON」側にスライドさせてください。HOLD設定時や同機能有効時にボタン操作をすると、液晶表示ディスプレイに「HOLD」が約2秒間表示されます。「OFF」側にスライドさせると解除できます。

ホールド機能は本機のボタンに対してのみ有効です。リモコンはホールドの設定に関係なく機能します。

ESP機能について

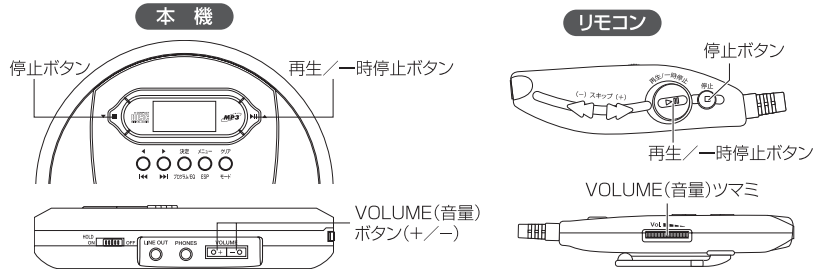
ESP（Electronic Shock Protection）とは、自動的に60秒間のデータ（MP3の場合は120秒）を蓄え、音飛びを防ぐ機能です。

- ●Audio CD 再生時：ESP 機能を有効にするには ESP ボタンを押してください。液晶表示ディスプレイに「ESP」が点滅し、データの蓄積が完了すると点滅が常時表示に変わります。
  ※解除するにはもう一度同ボタンを押してください（解除すると「ESP」表示が消えます）。
- ●MP3-CD 再生時：ESP ボタンの操作に関係なく、常時有効となります（ディスプレイ表示はありません）。

- ●再生当初はメモリーへの蓄積が十分でないため、音飛び防止が十分に働かないことがあります。
- ●ESP機能が有効な場合でも、データ蓄積時間を超えて振動が続いた場合（歩行中や動いている車内など）、一時的に音が途切れることがあります。

CDを聴くときは

イヤホン、リモコンを接続し、音量を絞ってから操作してください。

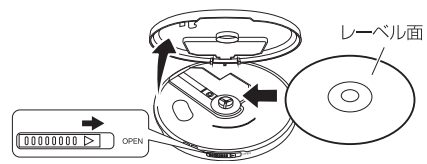


重要

- ●本機で再生できるMP3-CDは以下の通りです。
  ・対応ビットレート：32～320kbps　・ファイル数：最大300ファイルまで
  ・フォルダー数：最大99個まで（5階層まで確認済み）
- ●本機で再生するCD-R ／ RWを作製する際、MP3形式のファイルに「.doc」、「.txt」、「.pdf」などの拡張子をつけないでください。
- ●本機で再生するCD-R ／ RWを作製する際、音楽ファイルではないデータ（テキストデータ、画像データなど）のファイル名に、「.mp3」の拡張子を付けないでください。本機の機能に悪い影響を与えたり、ノイズ干渉が起こるおそれがあります。
- ●MP3形式のファイルとCD-DA形式（Audio CDで一般的な形式）のファイルを1つのディスクに混在させないでください。混在している場合、CD-DA方式のファイルのみ認識され、MP3ファイルは認識されません。

❶ CDドア開スイッチをスライドさせて、CDドアを開けます。

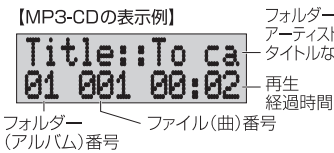
❷ CDのレーベル面（印刷してある面）を上にして正しくセットした後、CDドア閉部を押してCDドアを閉めます。



❸ 再生／一時停止ボタンを押すと電源が入り、「HELLO」→「CD/MP3」→「Now Reading」と表示されてディスクの読み込みが始まります。読み込みが完了すると、自動で再生が始まります。

【Audio CDの表示例】

【MP3-CDの表示例】



- ●読み込みには時間がかかることがあります。
- ●ディスクが入ってない場合や、汚れや破損、入れ間違い（上下逆に装着）などにより読み込みができない場合は、「No Disc」と表示されます。また、CD-R ／ RWの作製が適切でない場合は「Error」と表示されます。

MP3-CD再生時は最大12文字×2行で表示され、12文字を超えるときはスクロール表示になります。
※本機で認識できるIDタグは英数字及び一部の記号のみです。それ以外の文字を使っている場合は「unknown」などと表示されます。

次ページに続く

4 本機のVOLUME(音量)ボタン(+／ー)またはリモコンのVOLUME(音量)ツマミで音量を調節します。

- ●本機、リモコン双方で調節できますが、本機の音量設定が最小の場合、音は聴こえませんのでご注意ください。
- ●本機にて調節したときは、液晶表示ディスプレイに音量レベルが約3秒間表示されます(00～32)。ただし、リモコンでの調節時は表示されません。
- ●音量の上げすぎにご注意ください。大きな音量で長時間聴き続けると、聴覚に悪い影響を及ぼすことがあります。

【Audio CDの表示例】

【MP3-CDの表示例】

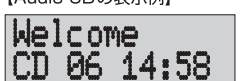
5 再生中に再生／ー時停止ボタンを押すと、ー時停止します(「PAUSE」と表示され、経過時間が点滅します)。もう一度押すと再生を再開します。

【Audio CDの表示例】

【MP3-CDの表示例】

6 再生を止めるには、停止ボタンを押します。

【Audio CDの表示例】



総ファイル数(曲数)　合計収録時間

【MP3-CDの表示例】

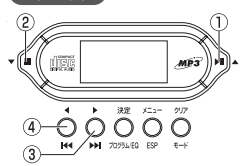
再生経過時間

総フォルダー数(アルバム数)　総ファイル数(曲数)

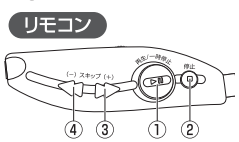
- ●CDを取り出すときは、本機の回転軸部を上から指で押さえながら、取り外してください。
- ●使い終わった後は、必ず本機からディスクを取り出してケースに保管してください。また、ほこりや汚れから内部を保護するため、ディスクを取り出した後は本機のCDドアを必ず閉めてください。

本機とリモコンのボタン機能について

本機



リモコン



再生する・一時停止する	再生／ー時停止ボタンを押す	①
再生を停止する	停止ボタンを押す	②
次のファイル(曲)の頭出しをする	スキップボタン(⏭)を短くー度押す	③
さらに次のファイル(曲)に進む	スキップボタン(⏭)を繰り返し押す	③
ファイル(曲)の先頭に戻る	スキップボタン(⏮)を短くー度押す	④
さらに前のファイル(曲)に戻って再生する	スキップボタン(⏮)を繰り返し押す	④
早送りをする	スキップボタン(⏭)を長く押す	③
早戻しをする	スキップボタン(⏮)を長く押す	④
電源を切る	停止中にもう一度押す	②

ラストメモリー機能について

- ●本機では、再生を途中で停止して電源を切った場合、次に電源を入れると前回停止したところから再生を開始します。違うファイル(曲)を聴くときは、スキップボタン(⏮／⏭)でお選びください。
- ●下記のモードボタンを使った再生方法の設定とイコライザーの設定も、同様に保持されます。

モードボタンを使った様々な再生方法

クリア

モード

本機のモードボタンを押すたびに、様々な再生方法を選ぶことができます。以下を参照して操作してください(Audio CDとMP3-CDでー部動作が異なります)。
停止中にモードを変更した場合は、再生／ー時停止ボタンを押して再生を始めてください。

通常再生(表示なし)
↓
1曲リピート(REP 1)　聴いているファイル(曲)を繰り返し再生
↓
全曲リピート(REP A)　CD内の全ファイル(曲)を繰り返し再生
↓
フォルダーリピート(REP D) ※1　フォルダー内の全ファイル(曲)を繰り返し再生
↓
イントロ再生(INTRO) ※2　CD内のファイル(曲)を最初の10秒ずつ再生
↓
ランダム再生(RANDOM) ※2　CD内のファイル(曲)をランダムに再生
↓
(通常再生へ戻る)

各モードの設定は約4秒間表示され、その後、通常の表示に戻ります。通常表示になってからモードボタンを押すと、次の再生モードに設定が変わりますのでご注意ください。
※1　フォルダーリピートはMP3-CDのみです。
※2　INTRO、RANDOMは点滅表示されます。

イコライザーの設定　※再生中に操作してください

決定

プログラム/EQ

プログラム／ EQ(イコライザー)ボタンを押すたびに音質が変化します。
※音源によっては音質の変化が分かりにくい場合があります。

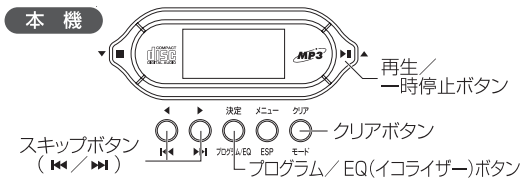
FLAT
↓
CLASSIC
↓
POP
↓
JAZZ
↓
ROCK
↓
(FLATへ戻る)

設定は約2秒間表示され、その後、通常の表示に戻ります。通常表示に戻った後にプログラム／ EQ(イコライザー)ボタンを1回押すと、現在の設定が表示されます。さらに続けて押すと、順次設定が変わります。

プログラム再生

※停止中に操作してください

本機では最大24曲までお好きな順番でファイル(曲)を再生することができます。
Audio CDとMP3-CDで操作のしかたが異なりますのでご注意ください。



❶ 停止中にプログラム／ EQ(イコライザー)ボタンを押します。

【Audio CDの表示例】

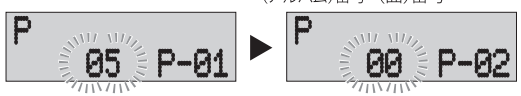
ファイル(曲)番号　曲順番号

【MP3-CDの表示例】

フォルダー(アルバム)番号　ファイル(曲)番号　曲順番号

❷ **Audio CDの場合**

スキップボタン(⏮／⏭)で最初に登録したいファイル(曲)番号を選び、プログラム／ EQ(イコライザー)ボタンを押します。



最初の登録が完了すると、曲順番号が「P-02」に変わり、再びファイル(曲)番号が点滅します。

MP3-CDの場合

スキップボタン(⏮／⏭)で最初に登録したいファイル(曲)のフォルダー(アルバム)番号を選び、プログラム／ EQ(イコライザー)ボタンを押します。続いて、スキップボタン(⏮／⏭)で登録したいファイル(曲)番号を選び、プログラム／ EQ(イコライザー)ボタンを押します。

最初の登録が完了すると、曲順番号が「P-02」に変わり、再びファイル(曲)番号が点滅します。

❸ ステップ2と同様の手順で2番目以降のファイル(曲)を登録していきます。

❹ 再生／一時停止ボタンを押すと、プログラム再生が始まります。

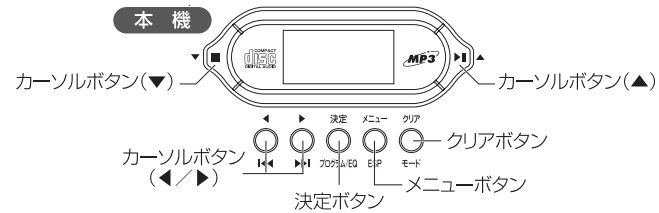
- ●プログラム再生中の液晶ディスプレイ表示は通常と同じですが、停止すると右図のように「P」が表示されます。このときにもう一度再生／一時停止ボタンを押すと、前回停止したところからプログラム再生を再開します。

Audio CDの表示例

- ●登録したプログラム内容を消去するには、再生を停止した後、クリアボタンを約4秒間長押ししてください。「WELCOME」と表示された後、プログラム内容が消去されます。ディスクを入れ替えた場合も消去されます(CDドアを開けただけでは、プログラム内容は消去されません)。
- ●プログラムした内容を確認するには、停止中にプログラム／ EQ(イコライザー)ボタンを押します(押すたびに順に登録内容が表示されます)。変更したい場合は、変更する曲順番号を表示させた後、スキップボタン(⏮／⏭)でファイル(曲)番号を変更し、もう一度プログラム／ EQ(イコライザー)ボタンを押してください。

メニューボタンを使ったファイル検索機能(MP3-CD のみ)

MP3ファイルを収録したCD-R ／ RWの場合は、以下の方法でファイル(曲)やフォルダー(アルバム)を検索することができます。



ファイル名の頭文字で検索して再生する

❶ メニューボタンを1回押します。
- ●液晶表示ディスプレイに「ABCDEFGHIJKL」の文字列が表示されます。
- ●M以降の文字列や数字を表示させる場合は、必要に応じてカーソルボタン(▲／▼)を数回押してください。

❷ カーソルボタン(◀／ ▶)で検索したいファイル名(曲名)の頭文字(アルファベット)を選択し、決定ボタンを押します。
- ●該当するファイル名(曲名)が表示されます。該当するファイル名(曲名)がない場合は「No File」と表示されます。
- ●該当するファイル(曲)が複数ある場合は引き続きアルファベットが点滅しますので、カーソルボタン(◀／ ▶)でファイル名(曲名)を選んでください。
- ●決定ボタンを押すと再生が始まります。

- ●ファイル名が記号(!、-、=など)で始まるファイルを検索する場合は、ステップ1で「Special Mark」を選んでください。ただし、場合によっては正しい検索結果にならないことがあります。
- ●検索を中止するにはクリアボタンを押してください。このとき再生モードが変更される場合は、P.8を参照して、適宜設定し直してください。

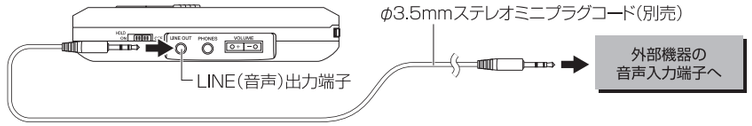
フォルダーとファイルを選んで再生する

❶ メニューボタンを2回押します。
- ●液晶表示ディスプレイの上段にフォルダー名(アルバム名)が、下段にファイル名(曲名)が表示されます。

❷ カーソルボタン(▲／ ▼)でフォルダー名(アルバム名)を選び、続いてカーソルボタン(◀／ ▶)で再生したいファイル名(曲名)を選んで決定ボタンを押すと、再生が始まります。

外部機器に接続するときは

LINE（音声）出力端子を使って外部のスピーカーシステムやコンポなどに接続すると、本機の再生音を出力できます。接続にはφ3.5mmステレオミニプラグコード（別売）をお使いください。



接続及び取り外しは、必ず本機及び外部機器の電源を切ってから行なってください。

故障かなと思ったら

電源が入らない	●乾電池が入っていますか
	●乾電池の向きは正しいですか
	●乾電池が消耗していませんか
	●（ACアダプター使用時）ACアダプターは本機及び家庭用コンセントにしっかりと接続されていますか。
再生が始まらない	●CDドアがしっかりと閉まっていますか
	●HOLD（ホールド）スイッチがオンになっていませんか
	●ディスクが裏返しに入っていませんか
	●レンズがひどく汚れていませんか
	●一時停止状態になっていませんか
	●結露していませんか
CD-R ／ RWの再生ができない一部しか認識されない	●収録したファイル（曲）は本機の規格に合ったファイル形式ですか
	●正しくファイナライズ処理したディスクをお使いですか
	●MP3形式のファイルとCD-DAのファイルが混在していませんか
CD-R ／ RWの曲情報が表示されない	●タグ情報は正しく記述されていますか
	●英数字（記号）以外の文字を含むタグ情報が埋め込まれていませんか
音が出ない	●リモコンやイヤホンのプラグがしっかりと差し込まれていますか
	●本機またはリモコンの音量が最小になっていませんか
リモコンで音量調節ができない	●本機側の音量設定が最小になっていませんか
	●リモコンのプラグがしっかりと差し込まれていますか
音飛びがする	●レンズが汚れていませんか
	●ディスクに傷があったり、ひどく汚れていませんか
	●強い衝撃や振動のある場所で再生していませんか
正常な表示や動作をしない	●乾電池が消耗していませんか
	●リモコンのプラグがしっかりと差し込まれていますか

お手入れのしかた

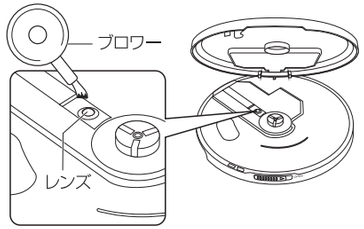
●レンズ部のクリーニング

クリーニングの前に必ず電源を切ってください。
レンズの汚れは音飛びなど正常な再生ができなくなる原因となります。レンズ部にゴミやほこりがついた場合は、市販のブロワーでレンズを2～3回吹き、ブロワー先端のブラシでゴミをはき出します。最後にもう一度、ブロワーでレンズを吹いてください。

シンナー、ベンジン、アルコールなどは使用しない

●キャビネットのお手入れ

キャビネットの汚れは柔らかい布で乾拭きしてください。汚れがひどいときは、うすい中性洗剤溶液を湿らせた布で拭いてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので使わないでください。



主な仕様

電源	DC3V　単3形アルカリ乾電池（LR6）×2本　（別売） ACアダプター定格　DC4.5V　500mA　⊖-●-⊕（専用ACアダプター付属）
出力端子	ヘッドホン出力／ LINE（音声）出力　最大出力レベル15mW+15mW
対応フォーマット	CD-DA、MP3（一つのディスク内の混在は不可）
ファイル／フォルダー	最大300ファイル／ 99フォルダー
使用時間の目安	新品アルカリ乾電池使用時：Audio CD …約10時間　MP3-CD…約12時間 （中程度の音量にて使用時の目安です。使用状況により異なります）
外形寸法	幅141X高さ29X奥行141mm（突起物含まず）
質量	約205g（乾電池・付属品含まず）
付属品	専用ACアダプター、リモコン（クリップ付）、ステレオイヤホン、 取扱説明書（保証書付）

※仕様及び外観は予告なく変更することがあります。
※この取扱説明書で使用しているイラストは、一部実際の製品と異なる場合があります。

保証書とアフターサービスについて

保証書について

この製品には保証書がついておりますので、お買い上げの販売店よりお受け取りください。お受け取りになった保証書は、記載内容及び「販売店、お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

●調子が悪いときは
修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。
●保証期間中は
保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
●保証期間が過ぎた場合は
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。